



老人と海 Asiaing.com 老人と海 エルネスト ヘミングウェイ著 www.Asiaing.com  
チャーリー シュリブナーへ そして マックス パーキンスへ

彼は、メキシコ湾のガルフストリームで一人で小さな舟で漁をしていた老人で、  
今や魚を一匹も釣らずに84日が経過していた。最初の40日間は少年と一緒にいた。  
しかし、魚を一匹も釣らない40日後、少年の両親は老人が確かにそして最終的にサラ  
オであると伝え、少年は彼らの命令で別の船に乗り換え、最初の週に3匹の良い魚を  
釣った。老人が毎日空っぽの舟で帰ってくるのを見るのは少年を悲しくさせ、彼はい  
つも老人が巻かれた綱やガフ、鋸、そしてマストに巻かれた帆を運ぶのを手伝いに行  
った。帆は小麦粉袋で補修されており、巻かれていると永続的な敗北の旗のように見  
えた。老人はやせており、首の後ろに深いしわがありました。太陽が熱帯海に反射  
することで生じる慈悲深い皮膚がんの茶色い斑点が彼の頬にありました。斑点は彼の  
顔の側面によく広がり、彼の手には重い魚を扱うことでできた深いしわがありました  
。しかし、これらの傷跡は新しいものではありませんでした。それらは、魚のいない  
砂漠の浸食と同じくらい古かったのです。彼についているものはすべて古かったが  
、彼の目だけは違い、海と同じ色で、明るく、負けじとしていました。「サンチャ  
ゴ」と少年が言いました。二人が舟を引き上げた土手から登っていくとき。「もう一  
緒に行けますよ。お金を稼ぎました。」

老人は少年に釣りを教え、少年は彼を愛していました。

「いや、君は幸運な船にいるんだ。彼らと一緒にいなさい。」 「でも、80日間も魚  
を釣らずにいたことを覚えているかい？ そしてその後、3週間毎日大物を釣ったんだ  
。」